旅館・ホテルの MICE特集

関連20～21面

企業の研修や会議、報奨旅行など、ＭＩＣＥ需要の取り込みに力を入れる旅館・ホテルが増えている。宿泊や宴会、会議室などの充実した設備に、地域ならではの食や文化、アクティビティを組み合わせた、受け入れに最適な10施設を紹介する。

定山渓万世閣 ホテルミリオーネ（北海道・定山渓温泉）

1400人収容のホール、多用途対応

万世閣ホテルズ（濱野清正社長）は、道内で三つの温泉リゾートホテル（洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス、登別万世閣、定山渓万世閣ホテルミリオーネ）を展開している。

その一つ、定山渓万世閣ホテルミリオーネ（札幌市、296室）は、札幌中心部から車で約50分というアクセスの良さを生かし、大規模な企業宴会や団体研修、少人数でのワーケーションまで幅広く対応している。会議や研修に加え、ブレインストーミング（短時間で多くのアイデアを出す会議手法）やチームビルディング、懇親会、宿泊などを組み合わせた「コンベンション&リゾート」の拠点ともなる。

900平方㍍の広さを持つ「ミリオーネホール」は、定山渓温泉初の大型コンベンションホールで、最大1400人を収容できる。展示会、演劇、コンサート、講演会などさまざまなイベントに対応可能だ。宴会場は人数に合わせ、和食・洋食と目的に合った宴会が可能。最大500人まで着席可能な大型宴会場も備えている。

ミリオーネホール

「経営方針発表会と大規模な懇親会を組み合わせた企業イベントをはじめ、首都圏や札幌市内のIT企業による研修、数日間にわたるシステム開発合宿、リモートワーク企業のチームビルディングなどの利用実績がある」という。

同館の特徴は大規模な会議・宴会機能と、温泉・食事・宿泊といった滞在機能を一つの施設内で完結できること。「大人数での企業イベントから少人数での研修・開発合宿まで、目的や規模に応じて柔軟に対応できる」とアピールする。

ターゲットは、①経営方針発表会や全社会議を行う企業②宿泊を伴う社員研修、管理職研修③IT企業などの開発合宿、集中型研修④チームビルディングや社内交流を目的とする企業⑤会議、懇親会、宿泊を一括して実施したい団体―など。

男性和風呂

研修によるスキルアップや従業員の一体感醸成を考える企業や団体などにとっては心強い施設といえるだろう。

宴会場「原生林川の字」

万世閣ホテルズは、創業85周年を迎える今年6月、ロゴおよび公式ホームページを刷新。老舗としての安心感と現代型リゾート体験を両立したブランド強化を図った。

「85年の歴史や親しみを受け継ぎながら、これからの時代に合った新たな魅力の発信を強化。ブランドコンセプトは『万（まん）の楽しさを持つ宿』を掲げ、道民に長く愛されるホテルを目指す」としている。

▽札幌市南区定山渓温泉東3。☎0570（08）3500。https://www.milione.jp

ホテル華の湯（福島県・磐梯熱海温泉）

充実の「温泉コンベ宴ション」

福島県・磐梯熱海温泉のホテル華の湯（菅野豊臣社長）は、温泉旅館のおもてなしに加えて、ＭＩＣＥ需要への対応に注力している。都市型ホテルと同等の会議システム・設備を完備。「温泉コンベ宴（エン）ション」として、大都市部のホテルで行う会議などにはない多様な魅力、開催効果を提案している。

会議、ミーティング、イベントの会場は、ホール2カ所、大小の会議室や宴会場8カ所の計10カ所。

コンベンションホール「華胥」（写真上）と「風の杜」

最も広いコンベンションホール「華胥（かしょ）」は、面積が760平方㍍で、最大収容人数は正餐300人、立食700人、スクール500人、シアター700人。

同じフロアには、コンベンションホール「風の杜」もある。面積は585平方㍍。最大収容人数は正餐200人、立食500人、スクール400人、シアター600人。

両ホール共に、260㌅の電動大型スクリーン、1万ルーメンの高輝度プロジェクターなどを完備している。

ハイブリッド会議にも対応。Ｗｉ―Ｆｉ、各種ウェブ会議システムを活用し、館内のホールや会議室、各客室をオンラインで結ぶ会議形態を採用することもできる。

ホテル華の湯の外観

会議などの受付には、非接触型のQRコードを使ったシステムも提供している。

ホテル華の湯の「温泉コンベ宴ション」の利点は、会議運営のスムーズさだけではない。豊かな里山の自然に囲まれた立地によるリフレッシュ・転地効果が会議やミーティングの質を高めてくれるほか、美肌の湯といわれる温泉につかり、福島の食材を生かした料理や酒を堪能、参加者同士の交流も深まる。

東京方面などからのアクセスもよい。自動車では東京から約3時間、磐越道・磐梯熱海ＩＣから約5分。駐車場は約400台分を備えている。鉄道は、新幹線利用で在来線への乗り換えを含めて約3時間。会津、いわき、福島などへの移動拠点としても好立地だ。

ホテル華の湯は、客室数が163室。温泉は豊富な湯量で萩姫伝説のある「美人の湯」。露天風呂やひのき風呂、貸し切り風呂などさまざまな「湯舎」巡りが楽しい。料理はシーンに合わせ、地産地消をテーマにしたビュッフェや創作和食など。どの料理にも「常磐もの」の高級魚介と、厳選された「ふくしま県産」食材が使用されている。

▽福島県郡山市熱海町熱海5の8の60。☎024（984）2222。https://www.hotelhananoyu.jp

舌切り雀のお宿 磯部ガーデン（群馬県・磯部温泉）

5施設完備「温泉会議力」を提案

群馬県安中市にある旅館「舌切雀のお宿磯部ガーデン」（櫻井太作社長、115室）は、五つのコンベンションホールが充実している宿。大規模な会議ができる多数の宴会場があり、さらに、大型バスが駐車できる駐車場を完備。「温泉会議力」をテーマに団体受け入れに積極的だ。首都圏からのアクセスの良さを強みに法人営業を強化している。

5分割可能なコンベンションホール「平安」

2階の「平安」は、近年リニューアルした最新の会場で5分割に対応。少人数から最大800人まで利用可能だ。同じく2階の「鳳凰」は同館最大の会場で4分割が可能でシアター形式で最大900席までに対応する。4階の「桜」は、眺望の良さが売り。3階の「竹」は、畳利用が可能な多目的会場となっている。

客室数と客室のバリエーションを豊富にそろえている点も強み。宴会、2次会など懇親会がしやすい上、周辺にはゴルフ場が多数あり、さらに軽井沢などの著名観光地へのアクセスが容易。エクスカーションが充実している点も売りだ。

童話「舌切り雀伝説」が誕生した宿として知られる磯部ガーデン。最寄りの磯部駅からは徒歩5分、世界遺産の富岡製糸場から車で20分。東京都心からは車で約90分。駅近くの立地ながら群馬の豊かで雄大な自然が楽しめる。

コンベンションホール「鳳凰」

磯部温泉は「温泉マーク」発祥の地としても知られる。泉質は美肌の湯、風邪治しの湯とも称される塩化物・炭酸水素塩泉。1階の「楽水の湯」、2階の「楽山の湯」の大浴場、露天風呂で堪能できる。

大型バスが駐車できる駐車場を完備（外観）

地元群馬で育った食材を中心とした料理も特徴だ。夕食は、和式宴会、洋式椅子テーブル、和式椅子テーブルなどのスタイルで対応が可能、朝食は種類豊富なバイキングで、10人以上であれば昼食の和食コース料理にも対応する。

▽群馬県安中市磯部1の12の5。☎027（385）0085。https://www.isobesuzume.co.jp

フォレストリゾート コニファーいわびつ（群馬県・東吾妻町）

広大な敷地に多彩な施設

群馬県吾妻郡東吾妻町に位置する「フォレストリゾートコニファーいわびつ」（33室）はフォレスト（石田浩二社長）が運営する体験型リゾート施設。木の温もりを感じる最大120人を収容できる会議室があり、大自然の中での企業研修や教育旅行、スポーツ合宿などの団体受け入れを積極的に行っている。

最大120人収容可能な会議室

コニファーいわびつの最大の魅力は、周囲を山々に囲まれた圧倒的なスケールの敷地にある。東京ドーム4個分の広大な敷地には多彩なレクリエーション施設があり、芝グラウンド、グラウンドゴルフ場、体育館、テニスコートを完備している。スポーツ合宿はもちろん、企業研修後のチームビルディングなどのレクリエーションにも最適だ。本館から敷地内のつり橋を渡るとキャンプ場が広がり、キャンプファイヤーやバーベキューの設備も整っていて、五感を使って自然と触れ合えるコンテンツも充実。夜には都会で見ることのできない満天の星を観察することも可能だ。

東京ドーム4個分の広大な敷地

温泉大浴場も完備しており、露天風呂には「吾妻峡温泉」の湯が注ぐ。体に優しく温まりやすい、肌触りのなめらかな泉質で、春には新緑を、秋には紅葉を望める。広々とした大浴場には薬師岳からの天然水を使用。このミネラルを多く含んだ天然水は館内全てで利用されており、群馬の豊かな水源を確かに実感することができる。また大浴場には本格的なフィンランド式サウナも併設していて、セルフロウリュも可能だ。

温泉露天風呂を完備

同館は東京から車で約2時間、無料の駐車場を備え、電車では群馬原町駅から無料送迎バスもある。近隣には「岩櫃山」（標高約802㍍）と、国指定の名勝地「吾妻峡」という二つの景勝地があり、雄大な自然を間近に感じることができる。

地元の里山でとれた四季折々の食材を使用した彩り豊かな季節の会席膳も魅力の一つ。上州牛、やまと豚、おきりこみなどが豊富にそろう。夕食はレストランでの食事に加え、団体の場合は宴会場での対応も可能。

▽群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町4399。☎0279（68）5339。https://www.iwabitsu.co.jp/

マホロバ・マインズ三浦（神奈川県・三浦市）

非日常の環境が生む「滞在型ＭＩＣＥ」

企業の研修や会議では、限られた時間で議論を深めるだけでなく、参加者同士の交流やチームビルディングも課題だ。こうした中、リゾートや温泉地など、日常とは異なる環境で、会議・研修と宿泊、食事、リフレッシュを一体化する「滞在型ＭＩＣＥ」への関心が高まっている。

会議室

神奈川県三浦市の大型リゾート施設「マホロバマインズ三浦」は、こうした利用に対応する施設・環境を整えている。大小さまざまな会議室・宴会場を備え、数人規模の役員合宿やグループワークから、最大80人までの会議、セミナー、パーティーなどに対応。スクリーン、プロジェクター、音響設備、Ｗｉ―Ｆｉなどを備え、会議運営をコンシェルジュがサポートする。

特徴の一つが、会議だけで終わらない滞在環境だ。客室は平均80平方㍍以上の広さがあり、グループワークや歓談の場としても活用できる。会議後には地下1500㍍から湧出する自家源泉の天然温泉やクアパーク、温水プール、サウナ、岩盤浴などでリフレッシュでき、参加者同士の親睦を深める時間にもつながる。

温泉

また、品川駅から京急線で約60分、最寄りの三浦海岸駅から徒歩約7分で、無料送迎バスも用意。三浦の新鮮なマグロや野菜を使った料理も特徴で、マグロ料理を目当てに訪れる一般客も多い。

利用実績は、内定者研修、新入社員・幹部研修、周年事業、学会・セミナーなど。昼は研修、夜は懇親会、翌朝は海辺の散策や温泉という組み合わせも可能だ。会議手配から宿泊、食事、懇親会まで担当営業がワンストップで提案する。

外観

同施設が目指すのは、「ただ集まって会議をする場所」ではなく、ホテルならではの温かいもてなしと開放感を通じ、参加者同士の交流を深める場。都心から近い立地に、温泉、自然、食を組み合わせ、研修の「オン」と交流・リフレッシュの「オフ」を切り替えられる環境を提供している。

▽神奈川県三浦市南下浦町上宮田3231。☎046（889）8945。https://www.mahorova-minds.com/bizsp/